

フジイコーポ  
レーション  
スノーロータリーフェア

新型除雪機を展示

安全講習会も併せて開催

フジイコーポレーション(株)新潟県燕市小池285・☎0256(64)5511・藤井大介社長は、10月19日、20日に妙高市の安全講習センター・上越センターを皮切りに、10月26日、27日に十日町市のおてま高原リゾート・ベルナティオ特設会場、11月9日、10日に三条市の道の駅・漢学の里したた特設会場の全会場で「スノーロータリーフェア」を開催した。各会場には、新型の大型除雪機「SQ1235DK-z」をはじめ、来春発売予定の自走式刈払機「コルタリス」などを展示した。

「スノーロータリーフェア」は、①除雪機をはじめ同社の製品を展示・紹介すること②ユーザーと交流を持ち、フジイのファンを増やすことを目的としており、昨年に初めて開催し今年2回目を迎える。1回目となった昨年は、三条市と十日町市の2会場で開催したが、上越地区でも開催してほしいと要望があり、今年は3会場で開催を決



除雪機には人だかり



「今年には展示会の目玉に「新型の大型除雪機「SQ1235DK-z」と、

来春発売予定の自走式刈払機「コルタリス」を展示。そのほかにも小型〜大型まで各種除雪機を展示し来場者にPRした。大型除雪機「SQ1235DK-z」は、2014年排ガス対応モデルで35馬力エンジンを搭載した除雪機。狙った除雪機の安全をレクチャーする安全運転講習会も行われ、除雪機の安全な使用方法を改めて学ぶ来場者の姿が見られた。

安全講習は来場者から高い注目を集めた。同社機械事業・営業の小林正幸次長に話を聞くと「昨年に続き2回目の開催だが、県内からたくさんの方々が来てくれた。今までユーザーの方と直接会って要望や悩みなどを聞く機会は少なかつ

たが、当フェアは当社がこころを話してくれた。さきま」と述べ、続けて「草刈りに向けて「コルタリス」のPRをしっかりと進めたい」と話した。また「これから雪も降り始めるので除雪機のPRも包み隠さずたくさんの方に聞いてほしい」と話した。来年の夏場の